

運動器理学療法研究会 第2回 特別講習会風景

運動器理学療法研究会 第2回特別講習会

荷重関節疾患における 姿勢制御の異常と治療アプローチ

講師:石井 慎一郎 先生(神奈川県立保健福祉大学)

日時:2007年3月3日(土)・4日(日)

会場:大阪回生病院リハビリテーションセンター

運動器理学療法研究会

The Society of Physical Therapy for Locomotive Organ

URL: <http://www.kaisei-hp.co.jp/center/rihabiri.html>

今回はお忙しい中、石井慎一郎先生を講師にお迎えし、ご指導を頂きました。
機能解剖やバイオメカクスに加え、運動制御(フィードフォワード)や身体二軸理論など新たな理論背景とそれに基づく理学療法の展開をご指導いただきました。臨床に即した内容で、担当患者様を思い浮かべながら、受講させていただき、大変充実した2日間を送ることができました。

石井慎一郎先生、ならびに受講生の皆さん、本当にありがとうございました。

【集合写真】

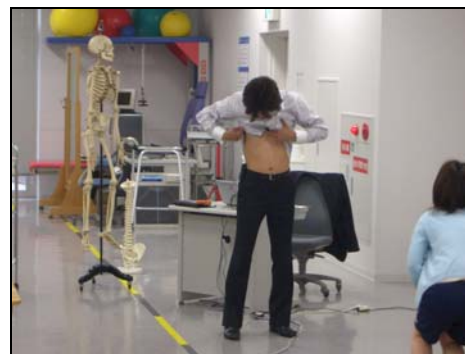


関西地区以外からも神奈川・長野・千葉・静岡・石川・広島など全国各地から40名の方々がご参加下さいました。

【1日目 講義と実技】



【2日目 講義と実技、ケーススタディ】



【アンケート集計】

①疑問に思ったこと

- ・ 運動学習における長期記憶の介しかた
- ・ 術後の荷重時痛を要する患者において安定性限界の組み立て方
- ・ 円背患者におけるブロックの積み上げ方
- ・ ゼロモーメントポイントにおける複合連続動作時の理解の仕方
- ・ 運動学習は、フィードフォワード、フィードバックの繰り返しより成り立っているのか
- ・ 患者に対してのコマンド方法

②理解できなかったところ

- ・ 自身の身体におけるブロックを積み上げるというイメージ
- ・ core unit のイメージの仕方
- ・ 臨床場面でのフィードフォワード系制御をどのように展開していけばいいか
- ・ short foot の理解の仕方
- ・ 寝返りと歩行の共通する所
- ・ 運動学習における長期記憶のための回数・頻度設定

③一番興味がもてたこと

- ・ 二軸理論やセントラルラインを重視したアプローチ
- ・ フィードフォワード機構を意識した動作終点・始点へのアプローチ
- ・ 動作開始前のポジション・構えが大事だということ

④感想

- ・ 臨床での疑問点が1つ1つ整理できた
- ・ 実技より自分が実際に感じることでできて良かった
- ・ 先生のエネルギーの原動の様なものを感じ取れ、自分の未熟さを感じました
- ・ 担当症例にも同じような現象が生じているので、明日からの臨床に活かしていきたいです

【受講生の声】

石原 信次さん 田原病院(大阪府 四条畷市)

石井慎一郎先生の講義を初めて受講して、すごく聞き入り、見入りで、あっという間の二日間でした。すごく興味深い内容で大変良い経験ができたと感じています。また、講習会の中では自分の患者さんと照らし合わせて考え、そういう視点からも評価・アプローチしていかないといけないと感じ、自分の評価の視点や、治療の考え方が変わりました。

また理学療法の深さ、楽しさを実感できることとなりました。本当にあっという間でまた機会があればどんどん講習会に参加して知識を吸収し、臨床の場で役立てていきたいと思いました。

今回御講義頂いた石井慎一郎先生、ならびにこの機会を設けて下さった大阪回生病院リハビリテーションセンターの皆様感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

